手作りお菓子贈る

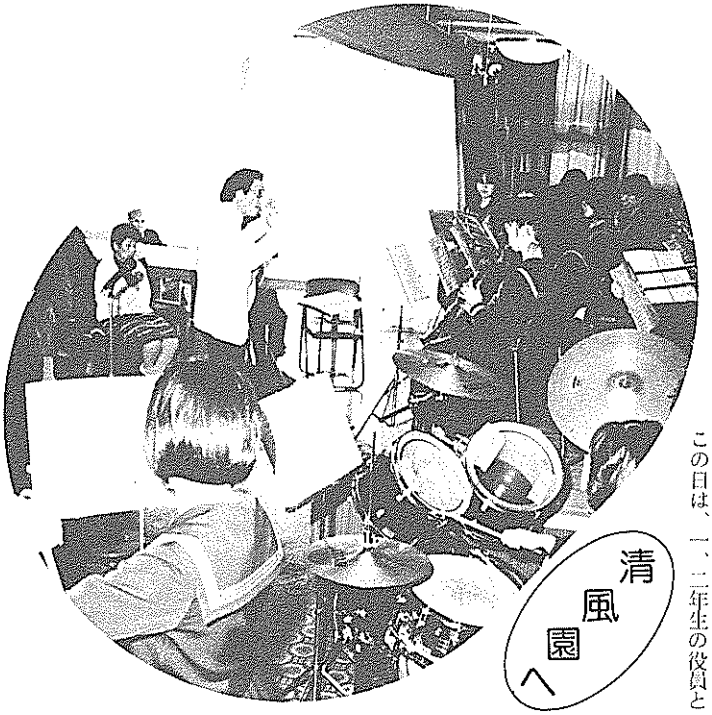
高知農業高校家庭クラブ

卒業式も迫ってきた二月十二日、高知農業高校（立田好次校長）家庭クラブの女生徒が、特別養護老人ホーム土佐清風園（国沢守道園長）を訪れ、手作りのお菓子や花を贈りました。

家庭クラブは、一年生から三年生までの生活科の女生徒全員で構成。活動の大きな柱として、研究、奉仕、勤労の三つを挙げており、この訪問は奉仕活動の一つで、始めてすでに十年以上になります。

この日は、一、二年生の役員と三年生は全員の四十五人。朝から作ったお菓子マドレーヌ五百個、丹精して育てたパンジー三十鉢、新しいタオル百二十枚を「カゼをひかずに、長生きしてください」とプレゼントし、「よさこい鳴子踊り」などの歌も披露。

そして、全員が各部屋に分かれぞうきんを手に、お年寄りたちと楽しく語らいながら、窓の清掃奉仕をし、お年寄りもうれしそうでした。



「高原列車は行く」など懐かしい曲を演奏

懐メロなど9曲を演奏

岡豊高校吹奏学部

二月二十二日には、岡豊高校（野口顕二校長）の吹奏楽部も訪問。

二年前、学校創設と同時に出来た吹奏楽部は、地域に根ざした活動をと、昨年十月市文化推進協議会主催の「文化祭」にも、積極的に参加しています。

この日は、一、二年生の部員二十人が参加。まず午前中は、心身障害者施設「土佐希望の家」を訪ね〝ドラエもん〟〝アラレちゃん〟など、人気アニメの曲を披露。

午後は清風園へ。〝だれか故郷を想わざる〟〝高原列車は行く〟など、懐かしい曲を九曲演奏し、お年寄りもメロディーにのって口ずさんだり、拍子をとったりと、とても楽しそう。お年寄りの強いアンコールにこたえて〝おかあさん〟が再演奏され、最後に「来年はまた、いっぱい練習してやってきます」と答えると、盛んな拍手に沸き、お年寄りは大喜びでした。

指導している比豫森正和先生は「南国市内にある高校ですし、もっと地域と密着した、そして役立つ活動を、これからも続けていきたい」と話していました。

手作りお菓子やタオルなどをプレゼント